

6

ごみのしよりと
利用



↑ごみを集める

みやづ
宮津市では１年間に一人当たりおよそ
432kgのごみが出されます。



	2016 年	2019 年	2023 年
人口 (人)	18538	17592	16151
ごみ総しより量 (トン)	8694	7281	6984
一人当たりごみ (キログラム)	469	414	432

↑宮津市の人口とごみの量りょう（ごみ総そうしり量）



(2)

ごみの分け方・収集日

《ごみの減量と分別にご協力ください。》

市町村の情報は、ごみ分別ガイドブックをご覧ください。家庭用ホームページにも掲載しています。



令和6年10月

燃やすごみ	資源ごみ	大型ごみ	処理できないごみ
週 2 回 (一部の地域は月2回) ☐ 曜日 ☐ 曜日 (収集日が祝日の場合、収集は行いません。) 台所ごみ・紙くず・木くず・繊維類 ・肉類(臭い)を出してください。 ・ダンボールも、10センチに入れて出さなくてはいけません。 ・生ごみは、十分に臭気抑えてください。 	週 1 回 (一部の地域は月2回) 第 ☐ 日 ☐ 曜日 (収集日が祝日の場合、収集は行いません。) プラスチック資材類 ・マークが印刷されている品。 発泡スチロール類 ・発泡スチロールと印刷された品。 	2ヶ月に1回 (戸別収集) (偶数・奇数)月 第 週 曜日 (収集日が祝日の場合、申請時に収集は行いません。) 家電製品類・家具類・自転車 (一辺の長さ90センチ以上のもの) ・大型ごみの出し方 ・申し込みが必要です。 ・使用済みの家電品は必ず事前申請をしておきましょう。 ・(大人2人以上が参加必須) 申し込みください。 	家電リサイクル法対象品目 ・買入時に業者が回収取ってもらいましょう。 ・買入される場合は製造メーカーに申込みください。 
燃やさないごみ 週 1 回 (一部の地域は月2回) 第 ☐ 日 ☐ 曜日 (収集日が祝日の場合、収集は行いません。) ビニール類・プラスチック類 ガラス類・革製品類・陶器類・金属類 ・指定業者(臭い)を出してください。 ・一辺の長さが50センチ未満で、指定袋に入るものを並べてください。 	紙製容器包装 ・マークが印刷されている品。 紙バック・ダンボール・新聞・雑誌 ・毎月第1回時の資源ごみの収集日に「ひん・かん」の集積所へ家まで持ち出してください。 ・紙バック・ダンボール・新聞・雑誌は2つに分けて集めてください。 ・紙バックは必ず両面、折り開いて、重ねて出してください。 	有害・危険ごみ 2ヶ月に1回 (偶数・奇数)月 第 週 曜日 (収集日が祝日の場合、収集は行いません。) スプレー缶・カセットボンベ・蛍光灯・乾電池・充電式電池・水道器具類・ライター ・有害ごみ集積場所の指定袋に入れてください。 ・買入時に業者が回収取ってもらいましょう。 ・指定袋は、集積場所の指定袋の指定袋を使用しましょう。 ・カセットボンベ・スプレー缶・ライターは必ず両面、折り開いて、重ねて出してください。 	処理できないごみ ・買入される場合は製造メーカーに申込みください。 PCリサイクル法対象品目 ・買入される場合は製造メーカーに申込みください。 

出す日

決められた当日に(曜日)に出すようにしましょう。

出す場所

指定で決められた集積所(大型ごみは別所)にお願いします。

出す時間

朝8時30分までにお願いします。

宮津市市民環境課

☎45-1617 (直通)

📌ごみの分け方としゅう集日

わたしたちの家から、毎日たくさんのごみ
が出されています。そのごみはいろいろな種
類しゅるいがあります。

もやすごみは、宮津^{よぎ}与謝^{しよ}クリーンセンターへ運ばれます。ここには、焼^{しょう}きやくしせつのほか、メタンガス化しせつ、マテリアルリサイクル^{すいしん}推進しせつがあり、かんきょうやしげんのことを考えたしせつになっています。



↑宮津与謝クリーンセンター



リサイクルされる紙



しげんごみを点けんし仕分けする様子



リサイクルマーク



仕分けされたペットボトル



ペットボトルからつくられた作業服と手ぶくろ

しげんごみのゆくえ

左のようなマークのついたごみは、マテリアルリサイクル推進しせつに運ばれて、しげんとして再利用されています。

身の回りには、リサイクルしてつくられているものがたくさんあります。



マテリアルリサイクル推進しせつで働く人の話

運びこまれたごみを分けるのがたいへんです。こうりつよく仕分けし、リサイクルできるように、ごみの分け方の表を見てきちんと分別してほしいです。



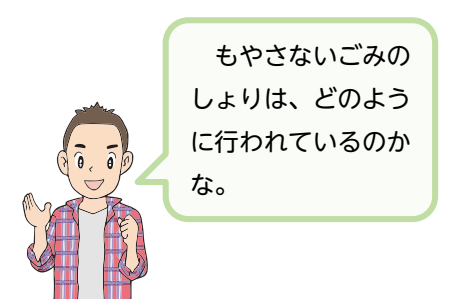
東部不燃物しより場



流れ出る水をきれいにする

もやさないごみのゆくえ

もやさないごみは、一度宮津与謝クリーンセンターに運ばれた後、栗田にある東部不燃物しより場でうめ立てられ、かんきょうを守るためのくふうをしてしよりされています。

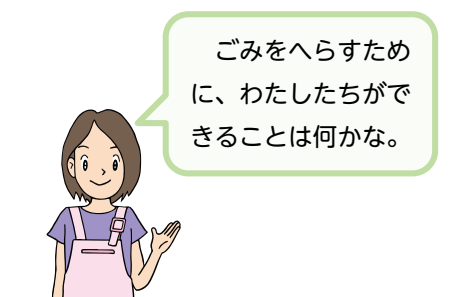


もやさないごみのしよりは、どのように行われているのかな。



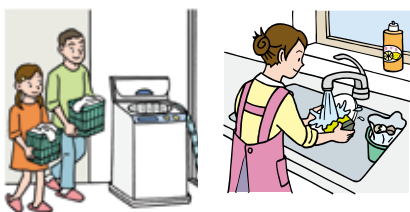
東部不燃物しより場で働く人の話

もやさないごみは、毎日どんどん運ばれてきます。ほかの場所にあった不燃物しより場がいっぱいになり、東部不燃物しより場をつくりました。ここもすぐにいっぱいになってしまうので、みなさんもおみをへらすくふうをしてください。



ごみをへらすために、わたしたちができることは何かな。

水はどこから



宮津市で1日に使われる水の量

6111m³

1日に一人が使う水の量

379 L

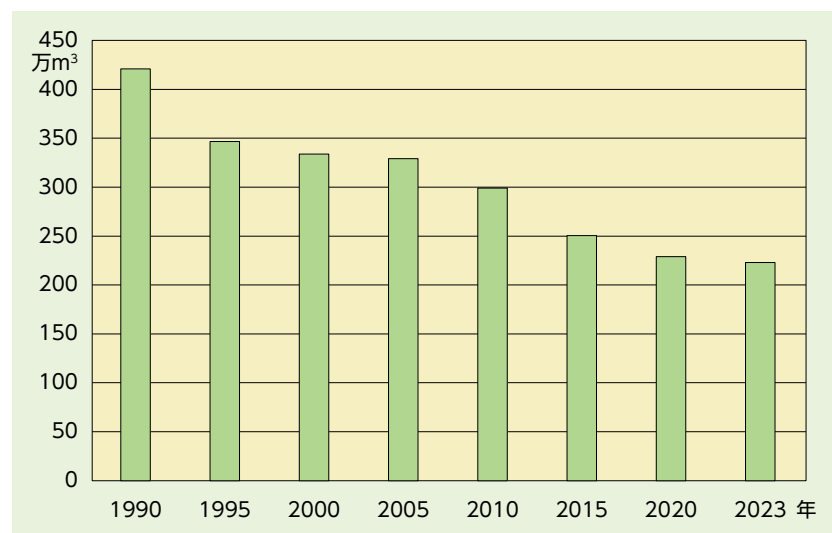
〔2023年度、宮津市資料〕

市の水の使用量と人口には関係があるのかな。

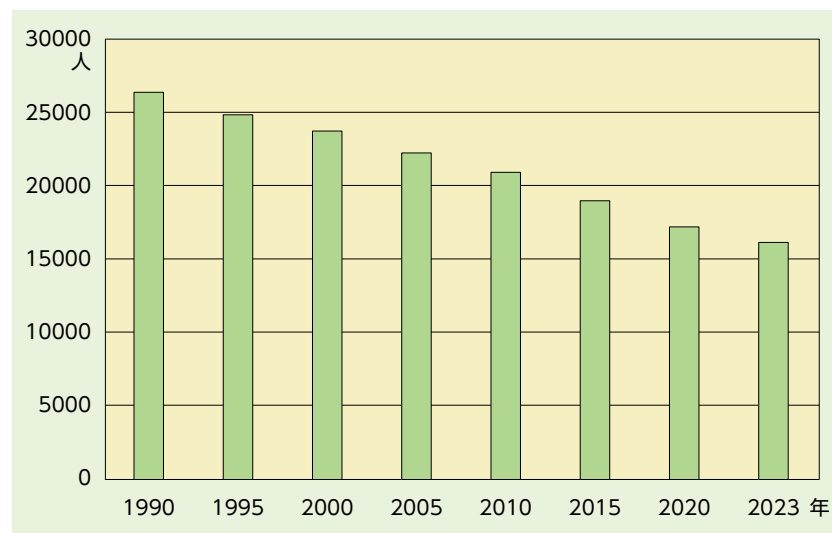


わたしたちが使う水

わたしたちは生活の中のどのような場面で水を使っているでしょうか。宮津市全体ではどれくらいの水を使っているのか調べてみましょう。



市の水の使用量の変化 (宮津市資料)



市の水を使っている人口の変化 (宮津市資料)

川からじょう水場へ

毎日使っている水は、川やダムなどを通して、じょう水場から送られています。



宮津市内のじょう水場



上宮津じょう水場



滝上ダム



④水げん林のかん板



④育樹祭のじゅんぴ



④整備された河口



④川岸に立てられているかん板



④下草がり



④雪起こし



④ふれあい広場



④親水公園（上宮津）での魚とり

調べる

水を守るためのくふうを調べてみましょう。

山の木を守ることが、きれいな水を守ることにつながるんだね。



みんなで守る水

大手川の上流には森林があります。水げん林とよばれ、雨水をたくわえる「緑のダム」の役わりをはたしています。

「宮津ふるさとの森を育てる協議会」は、植樹や下草がりなどの活動をしています。

市役所の人の話



大手川の水は、宮津市民の大切な水げんで、宮津湾に流れこみます。市では、みんなが川に関心をもち、水とふれ合うことができるように川岸を整びし、親水公園やふれあい広場もつくりました。

美しい川と美しい海を守ることが、人々の健康なくらしを守ることにつながるのです。

調べる

下水道を通して運ばれた水が、海に流されるまでのしくみを調べてみましょう。



下水道工事

使った水のゆくえ

みやづわん あそかい
宮津湾や阿蘇海は、家庭や工場からよごれた水が流れこむため、海のよごれが進んでいました。海をきれいにするため、下水道の工事が進められ、2020（令和2）年3月に完成しました。よごれた水のしよりは1993（平成5）年から始まっています。



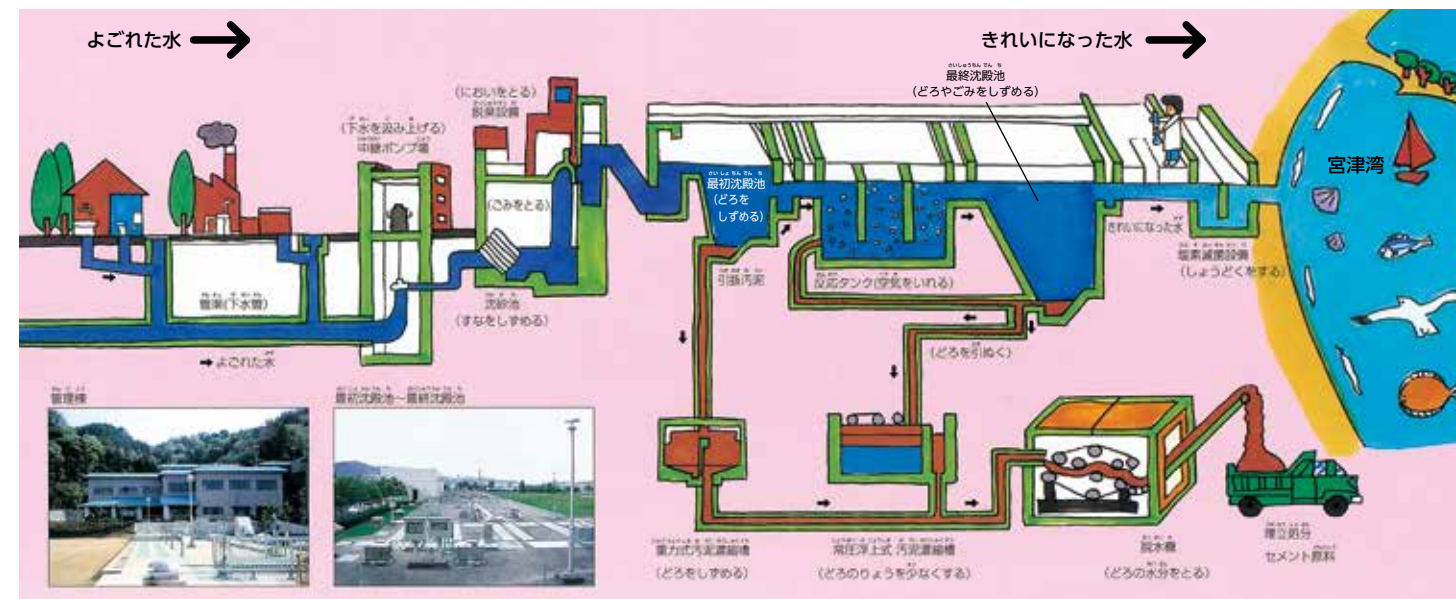
京都府流いき下水道のマンホール



宮津市のマンホール



下水道が整びされた地いき [京都府流域下水道事務所 宮津湾浄化センター]



下水をきれいにするしくみ エアレーションタンク（反応タンク）で、び生物がたくさん入っているどろをまぜ、空気を入れます。び生物がよごれを食べることでよごれがしずみます。

水をきれいにするしくみ

よごれた水は下水道を通して宮津湾浄化センターに運ばれます。浄化センターでは、び生物の働きでよごれを取りのぞいて水をきれいにし、海に流しています。び生物の働きでよごれがしずんでいく様子を調べました。



宮津湾浄化センター



①はじめのよごれ



②半分ほどよごれがしずむ



③きれになった水

よごれがしずんでいく様子